

## 安全データシート

作成日: 2022 年 06 月 07 日

SDS 番号: J-1051

第 2 版

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: Dewax-2 (AT 用)  
 製品コード: AT1533-1: Dewax-2 (AT 用); 10 ml x 10  
 供給者の会社名: 株式会社ニチレイバイオサイエンス  
 住所: 東京都中央区築地 6-19-20  
 担当部門: 品質保証部  
 電話番号: 81-3-3248-2207  
 FAX 番号: 81-3-3248-2243  
 メールアドレス: n1060x005@nichirei.co.jp  
 緊急連絡電話番号: 81-3-3248-2207  
 推奨用途及び使用上の制限: 免疫組織化学染色用

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類区分:  
 物理化学的危険性 引火性液体区分 4  
 健康有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 2(中枢神経系)  
 環境有害性 非該当

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHS ラベル要素

絵表示:



注意喚起語:  
 危険有害性情報:

警告  
 可燃性液体  
 強い眼刺激  
 中枢神経系の障害のおそれ

注意書き

安全対策:

熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。  
禁煙。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

保管: 換気の良い場所で保管すること。  
 施錠して保管すること。  
 廃棄: 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物  
 処理業者に業務委託すること

3. 組成及び成分情報

化学物質の区別: 混合物

化学名 又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
ポリ(オキシエチレン)ソルビタンモノラウリン酸エステル (Tween 20)	<0.1%	-	222	-	9005-64-5
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	<50%	C8H18O3	7-97、2-422	2-8-99 2-8-317	112-34-5
塩類水溶液	≥49.9%	-	-	-	-

分類に寄与する不純物及び安定化添加物: 情報なし

労働安全衛生法	表示対象物(法第五十七条、政令第十七条別表第三第一号及び第十八条) 通知対象物(法第五十七条の二、政令第十七条別表第三第一号及び第十八条の二別表第九) 第2種有機溶剤(政令番号:9)	ジエチレングリコールモノブチルエーテル(別表第9の224の3)
化学物質審査規制法	優先評価化学物質(法第2条第5項)	ポリ(オキシエチレン)ソルビタンモノラウリン酸エステル(Tween 20) (官報公示整理番号 222)
化学物質排出把握管理促進法、PRTR 法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)	ジエチレングリコールモノブチルエーテル

4. 応急措置

暴露措置による応急処置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。 皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 多量の水と石鹼で優しく洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぐこと。
眼に入った場合	汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用してい

飲み込んだ場合		て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 目の刺激が持続する場合、医師の手当てを受けること。 速やかに口をすすぎ、医者診断を受けること。 吐かせる
<b>5. 火災時の措置</b>		
消火剤		周囲の材質に合わせた消火剤を使用する
特有の危険有害性		発火物質: 通常条件ではない。 特有の火災及び爆発危険性: ない
特有の消火方法		特有の消火方法は無い
消火を行う者の保護		適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
<b>6. 漏出時の措置</b>		
人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置		作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を 参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 風上に留まる。低地から離れる。
環境に対する注意事項		環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材		危険でなければ漏れを止める。 漏れを適切な吸収剤で吸収する。漏れ区域を洗浄する時は、大 量の水で洗い流す。 水源あるいは下水を汚染下はならない。
<b>7. 取扱及び保管上の注意</b>		
取扱		
技術的対策		『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具 を着用する。
安全取扱注意事項		熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一 禁煙。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。容器を転 倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをし てはならない。接触、吸入又は飲み込んではいけない。 取扱い後はよく手を洗うこと。 皮膚と接触しないこと。 蒸気および霧の吸入を避けること。
接触回避		『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。
保管		
安全な保管条件		もともとの容器に保管する。 特定の温度で保管する。保管温度は製品表示を参照する。
安全な容器包装材料		データなし
<b>8. 暴露防止及び保護措置</b>		

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
ポリ(オキシエチレン)ソルビタンモノラウリン酸エステル (Tween 20)	未設定	未設定	未設定
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	未設定	未設定	未設定
塩類水溶液	未設定	未設定	未設定

## 設備対策

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。  
作業区域には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

## 保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を使用すること。

手の保護具

適切な耐薬品手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	なし(タグ密閉式引火点測定器およびクリーブランド開放式引火点測定器)
爆発限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性  
 化学的安定性  
 危険有害反応可能性  
 避けるべき条件  
 混触危険物質  
 有害な分解生成物

本品に関して危険有害な反応は知られていない。  
 通常温度において安定である。  
 知られていない。  
 高温あるいは直射日光。  
 避けるべき材料: 強アルカリ  
 通常の条件ではない。

## 11. 有害性情報

急性毒性

経口 既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を 1%含有し、毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。

経皮 既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を 1%含有し、毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。

吸入: 気体 本品は気体ではないため、分類対象外。  
 吸入: 蒸気 既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を 50%含有し、毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。

吸入: 粉塵、ミスト 既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を 50%含有し、毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。

皮膚腐食性及び刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を 1%含有し、毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性又は  
 眼刺激性

眼区分 2 の成分合計が 50%であり、濃度限界 (10%)以上のため、区分 2A「強い眼刺激」に該当。

呼吸器感作性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を 50%含有し、毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

皮膚感作性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界

生殖細胞変異原性	以上含有しないため、区分に該当しないに該当。
発がん性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を1%未満含有し、毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖毒性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を50%未満含有し、毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を1%未満含有し、毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(中枢神経系)の成分合計が50%であり、濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「中枢神経系の障害のおそれ」に該当する。
誤えん有害性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当するが、毒性が未知の成分を50%未満含有し、毒性未知成分が1%以上なため、区分に該当しないから分類できないに変更 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。データがなく分類できない。
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急性)	毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないに該当。
水生環境有害性 長期(慢性)	毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が0%であり、濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないに該当したが、毒性が未知の成分を0.1%含有し、毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

#### 14. 輸送上の注意

本品は危険物に該当しない。

国際規則	Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
	Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法	表示対象物(法第五十七条、政令第十七条別表第三第一号及び第十八条) 通知対象物(法第五十七条の二、政令第十七条別表第三第一号及び第十八条の二別表第九) 第2種有機溶剤(政令番号:9)
化学物質審査規制法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
毒物及び劇物取締法	非該当
廃棄物処理法	非該当
消防法	第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

#### 16. その他の情報

連絡先	株式会社ニチレイバイオサイエンス
参考文献	NITE GHS 分類公表データ EU CLP Regulation, Annex VI RTECS ECHA C&L Inventory Database 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。